



大成中だより
誠実、克己、創造、自他尊重

平成27年5月22日
尼崎市立大成中学校
学校だより(第2号)
Tel 06-6428-0029
Fax 06-6428-0031
<http://www.ama-net.ed.jp/school/J09/index.html>

JR西日本脱線事故追悼集会

107人が亡くなり562人がけがをしたJR脱線事故からまる10年。皆さんもよくご存じのことだと思いますが、本校東側のJR福知山線で脱線事故がありました。事故直後、大成中の先生たちや近所の工場の人たちが必死に救助に当たられていました。数え切れないほどの警察車両や自衛隊車両、救急車が待機していて、グラウンドの真ん中では何台ものヘリコプターが離着陸を繰り返し、負傷者した人たちを搬送していました。その悲惨な光景に胸が締め付けられたことを今でもはっきりと覚えています。

4月17日、大成中学校では道徳の時間に

1年生は、生徒達が自発的に「何かの役に立ちたい」という思いを抱きながらも、冷静に犠牲者や遺族の気持ちをくんだ行動を取ったことに学び、周囲のことを考え、社会のために自ら進んで行動することができるように、『私たちにできること』をテーマに学習をしました。

2年生は、1両目で負傷した伊丹市職員である山下亮輔さんの著書から、10ヶ月の入院生活の苦しみや苦勞、事故の苦しみから希望を見出そうとする自作曲の弾き語りや講演を通して、フラッシュバックとリハビリという苦しみを背負いながらも強く生きていることを学びました。

3年生は、事故でご主人を亡くされた原口佳代さんが事故後8年たって亡きご主人に宛てて書いた「天国へのラブレター」を読み、事故で亡くなった遺族の苦しみと葛藤を知ることにより『生命を尊さ』について学びました。

今回の学習で生徒はいろいろなことを学習ができたと思います。

この21世紀の時代にどんなに防災に備えていても、想像を絶する災害に見まわれることがあります。事故や災害はある日ある時突然にやってきます。事故や自然災害が怖いのは、一瞬にして人の貴い命が亡くなり、人生が奪われてしまうことです。本人の悔しさはもとより、家族の悔しさ、悲しさは想像を絶します。私たちが今、当たり前のように普通に生活していることは、実は幸せなことなのだというのを忘れないように心にしっかり刻み、今後も犠牲となった多くの人たちの冥福を祈るとともに、安全な暮らしについて、助け合いの心や命の大切さについて学び、語り続けていかなければならないと思います。そして目の前のことに精一杯に取り組むことが大切です。それが、突然の事故や災害で亡くなられた方々に対して、生かされている者の務めだと考えます。…

道徳での生徒の感想(3年生)

◎生きている以上、いろいろなことがあっても、それを乗り越えていかないと仕方ないんだと思いました。そして人は支え合って生きていくものだ改めて思いました。「ありふれた悲しみの果て」が自殺とかだと周りの人、残された人も余計に悲しくなるので、必死に生きていこうと思いました。死を迎えるまで、生き続けることがこの世に生を受けた人間に与えられた義務だと思いました。

◎最愛の人を亡くす。そんな思いは自分にはまだわかりません。でも、自分がそんな立場にいたとしたら、8年で立ち直ることなど絶対にできないと思いました。この事故で悲しんでいる方が多くいるということを忘れず、日々感謝しながら生きていかなければならないと思いました。

九州への修学旅行

5月13~15日、2泊3日の予定で3年生の一番大きな行事である修学旅行に出かけてきました。178名の3年生が参加し、大きな事故もなく目標を達成し、全員無事に帰って来ることができました。

1日目、早朝学校に集合。学校近くで元気にバスに乗り込み、新神戸から新幹線に乗っていざ九州へ。小倉に到着後、バスで安心院に向けて出発。途中、さくらで1時間ほどおみやげを買い、安心院に到着。ちょっと緊張していたとは思いますが、受け入れの各家庭のお母さん、お父さんとの対面式を行った後、すぐに家庭の方に移動していきました。2日目はそれぞれが菜園作業、漁業体験、ブドウ関連作業等体験メニューに協力し合いながら取り組みました。日頃便利な生活に慣れてしまっている生徒たちにとって何もかもが珍しく映ったと思います。はじめての家庭に突然お邪魔しているにもかかわらず、家族同然にいやそれ以上に温かくお世話していただきました。それぞれの家庭でお手伝いをし、愛情のこもった手料理をごちそうになりました。お



風呂は近くの温泉に連れて行ってもらうなど大分ならではの良さを存分に楽しんだと思います。このように安心院での2日間は自然を充分楽しむことはもちろんのこと人とのふれあいの中で人から大切にされること、愛されることの幸せを、また人の役に立つことの幸せも感じたのではないかと思います。3日目は早朝からサファリに向かい、そこではライオン、キリンなどの動物に餌をやる等、多くの生徒にとっては初めての体験ができたように思います。今後、これらの貴重な経験を大切にして、たくさんの方々にお世話になった感謝の心を忘れず、人に必要とされ、役に立てるよう自ら考え、動けるようにさらに成長してほしいと願っています。

クラブ表彰など

市民スポーツ祭
男子ソフトテニス：団体第3位 個人戦：門垣 良・大塚 陸斗ペア(第3位)
陸上部：団体第3位 個人：加藤祐希(走高跳び優勝)
加藤 ななみ(走高跳び第2位)、櫻井 日彩(走幅跳び第2位)
重吉 成海(円盤投げ第2位)、
我如古 雅也(100M第2位、200M第2位)
大島 秀太(円盤投げ第2位、砲丸投げ第2位)
ソフトボール部：団体第3位
女子バスケットボール部：団体第3位
男子バレーボール部：団体第3位
剣道部：個人：坂上 有紀(第3位)



100周年 知れば知るほど「あまがすき」♥

